2026年度 情報の教養学 講演会

行動ビッグデータを活用した社会経済分析

近年、衛星観測データや携帯電話端末のGPS情報、SNSデータ、各種決済情報、
ウェブ上の行動データなど、多様なビッグデータの蓄積と活用が進んでいる。
本講演では、これらのデータを活用した社会経済活動の分析事例を紹介するとともに、
気象等の環境情報との融合を通じて、社会経済分析の新たな可能性を展望する。

2026 12.16 水

16:30~18:00

場所 日吉キャンパス 来往舎1F シンポジウムスペース

対象 塾生・教職員 ※申込者多数の場合は塾生を優先します。



講師 **水門 善之**

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科准教授

2005年慶應義塾大学理工学部管理工学科卒業、2007年東京大学大学院修士課程修了、2013年ミシガン大学経営大学院修了MBA、2021年東京大学大学院博士課程修了 博士(工学)。2007年野村證券株式会社入社、金融経済研究所シニアエコノミスト、データサイエンス部長を経て、2025年より慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授。現在、人工知能学会金融情報学研究会幹事、人工知能学会編集委員、日本経済新聞社技術顧問などを兼任。



[主催]

慶應義塾大学教養研究センター

https://lib-arts.hc.keio.ac.jp/ [問い合わせ]toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

無料・事前申込制

事前申込受付開始:11月24日(火) 午前10時～
※要keio.jp認証

申込サイト
https://forms.gle/LfAceGUsSErP1iwk9